

「三郎丸 I THE MAGICIAN カスクストレングス」 (700ml)

【抽選販売】の結果・クイズの回答について

若鶴酒造オンラインショップ「私とALC.」では、11月10日（水）から24日（水）の期間、「三郎丸 I THE MAGICIAN カスクストレングス」のクイズ応募による抽選販売を実施しました。

今回の抽選販売には、約2,500名あまりのご応募をいただきました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

抽選販売の結果につきましては、11月26日～順次、当選者の皆様にお申込みの際のメールアドレスを通して、ご連絡をさせていただきます。

※抽選について詳細は明かせませんが難易度の高い問題に正解した方ほど確率を高くして抽選しています。そのため、（運が良ければ）全問正解でなくても当選する場合があります。

応募フォーム内にクイズを設けておりました。クイズの正解は以下の通りです。

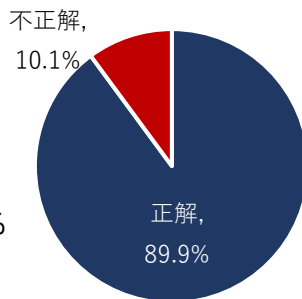
Q.1 初級

マッシュタンはウイスキー製造のどの工程で用いられる設備でしょうか？

- A 製麦
- B 粉碎
- C 糖化、濾過
- D 発酵
- E 初留、再留

A.1 C 糖化、濾過

正解率89.9%



Q.2 中級

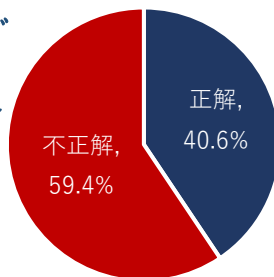
2018年の後半から三郎丸蒸留所のカスクエントリー（樽詰め度数）は変更されました。何%になったでしょうか？

- A 63.5%
- B 65%
- C 55%
- D 60.5%
- E 50.5%

A.2 D 60.5%

：当初はスコットランドの一般的な度数にならい、63.5%でのカスクエントリーでしたが、様々な実験の結果、富山県の実験環境や原酒の性質を考慮し最も原酒のポテンシャルを引き出せる60.5%での樽詰めに変更しました。

正解率40.6%



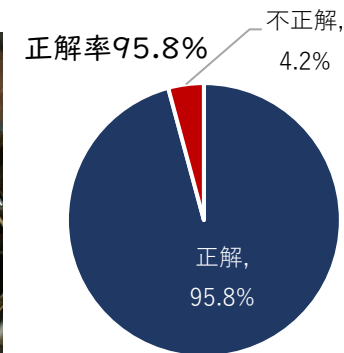
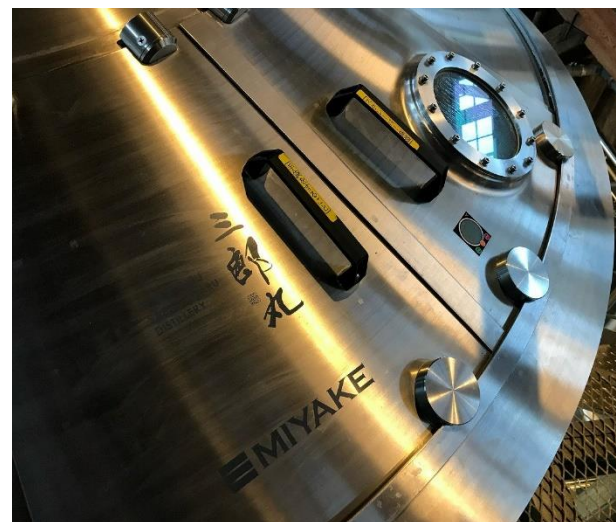
Q.3 上級

2018年、三郎丸蒸留所は半世紀ぶりに自作のマッシュタンを更新し最新のマッシュタンを導入しました。そのマッシュタンのメーカーはどれでしょうか？

- A フォーサイズ
- B bet
- C チーマン
- D ブリックス
- E 三宅製作所

A.3 E 三宅製作所

：三宅製作所の三宅康史氏と稲垣貴彦が金沢のバーで偶然出会ったことがきっかけとなり、そこから導入を進めることができました。



Q.4 超級

2018年蒸留モルトから熟成に使用されはじめた富山県産のミズナラ樽。
このミズナラ樽はどの地域から産出した材を使用しているでしょうか？

- A 白川村
- B 井波
- C 利賀村
- D 舟橋村
- E 上市町

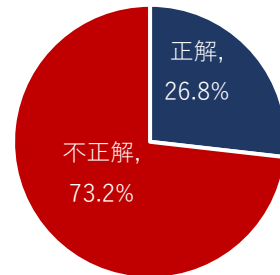
A.4 C 利賀

：樽工場があるのは井波ですが、ミズナラの木は南砺市利賀エリアで産出したものを使用しています。

利賀は演劇とそばが有名な山深い地域で三郎丸と同じ水系にあります。



正解率26.8%



Q.5 煉獄級

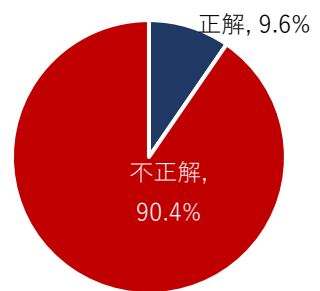
三郎丸蒸留所の更新したマッシュタンにあてはまらないものを次の中から1つ選んでください。

- A プレマイシャーは水の勢いでグリストと温水を混合する新式である。
- B マッシュタン本体に麦層の状態を確認できるサイトグラスが装備されている。
- C マッシュタンに高岡銅器が使われている。
- D 制御盤はオリジナルで自作したものである。
- E ドラフアウトのためのスクレーパーは手動で昇降する。

A.5 B マッシュタン本体に麦層の状態を確認できるサイトグラスが装備されています。

：近年のマッシュタンは本体側面にガラス窓（サイトグラス）が装備されているものが多いのですが、三郎丸では温度を均一に保つため、あえてサイトグラスを装備していません。サイトグラスは清掃時にロイター盤を取り出す出入口を兼ねているため、三郎丸のマッシュタンの蓋はマンホール式ではなく大きくスライドして開口する仕様となっています。

正解率9.6%



全問正解率 3.6%

以上が、クイズの正解内容です。
たくさんのご応募ありがとうございました！